

8月11日

裏岩手縦走コースで夏のお花火田を見てきたよ!

今日は「山の日」。夏の裏岩手縦走コースには初めて見るお花もたくさん咲いていました✿

←ここは茶臼岳 (1578m)

◀ 金鏡沼
10月上旬の紅葉もきれい!
(2017年のおでかけ日記に写真が載っています)
奥に見えるお山は茶臼岳です。



ハクサンフウロ ▶



▲一面に咲くキンコウカのお花火田。大深山荘の水場周辺のお花火田の光景です。



茶臼岳 (1,578m)

前森山 1,304m
(安比高原)

▲大深山荘～源太ヶ岳の間より。遠くにはアスピーテラインが見えます。

誰かが食べたあと、発見。

落ちてるのはハイマツの
木こぼりです。まだ

緑色していますが、中に硬い殻に包まれた

おいしい実が入っています。ホシガラスやネズミ等が
えさにしています。登山道を歩いていると、

時々、写真みたいに山盛りの食べかすが
落ちてます。誰でしょう...? しばらく宿題に
とりそうです。



ナカマドも
色付きはじめ
ました。



ハイブキ
の実。
トゲだらけ。



ホシガラスにしちや、多いよね...?



＜山行時間＞

畚岳登山口 (7:00) → 畚岳山頂 (7:30) → 諸松岳 (8:40) → 石沼 (9:25) →
 山嶮且森 (10:35) → 大深山荘 (11:22) → 休憩 → 大深山荘出発 (11:55) →
 水場 (12:07) → キンユウカのお花畑 (12:40) → 源太ヶ岳中腹お花畑 (13:15)
 → 源太ヶ岳水場 (14:05) → 松川温泉 (15:30)

▼ 源太ヶ岳中腹の湿原。タチギボウシが一面に咲いていました。



チンゲルマは綿(種)もかわいい!
濃青色のミヤマリンドウはこのコースならではの。



何年前かに県央の早池山登山に1人で登山に行った時、登山口から駐車場までの約2キロの道を歩いて戻っていたら、親切な女性の方が車で駐車場までのせて行ってくれました。その方が「大深岳の水場の辺りのお花畑がすごくきれいでねー、毎年歩きに行くのよ。」と教えてくれて、いつか行きたいと思ってました。今年はその願いがやっと叶いました!!



くまさんのいちご

ツキノワグマは生まれてから2~3年お母さんと一緒に暮らします。普通は2頭の子グマが生まれますが、殆どの場合、1頭しか育ちません。2頭育った場合は母グマと別れてから1~2年ほど子グマだけで過ごすこともあるそうです。バニバナイチゴの実は8月頃実ります。この季節は食べ物が多くなる時期で、母グマとお別れの季節でもあります。クマのお母さんはおしるうに実ったイチゴのある場所へ子グマを連れて行き子グマがイチゴに夢中になっている間にそっと姿を消すのだそうです。

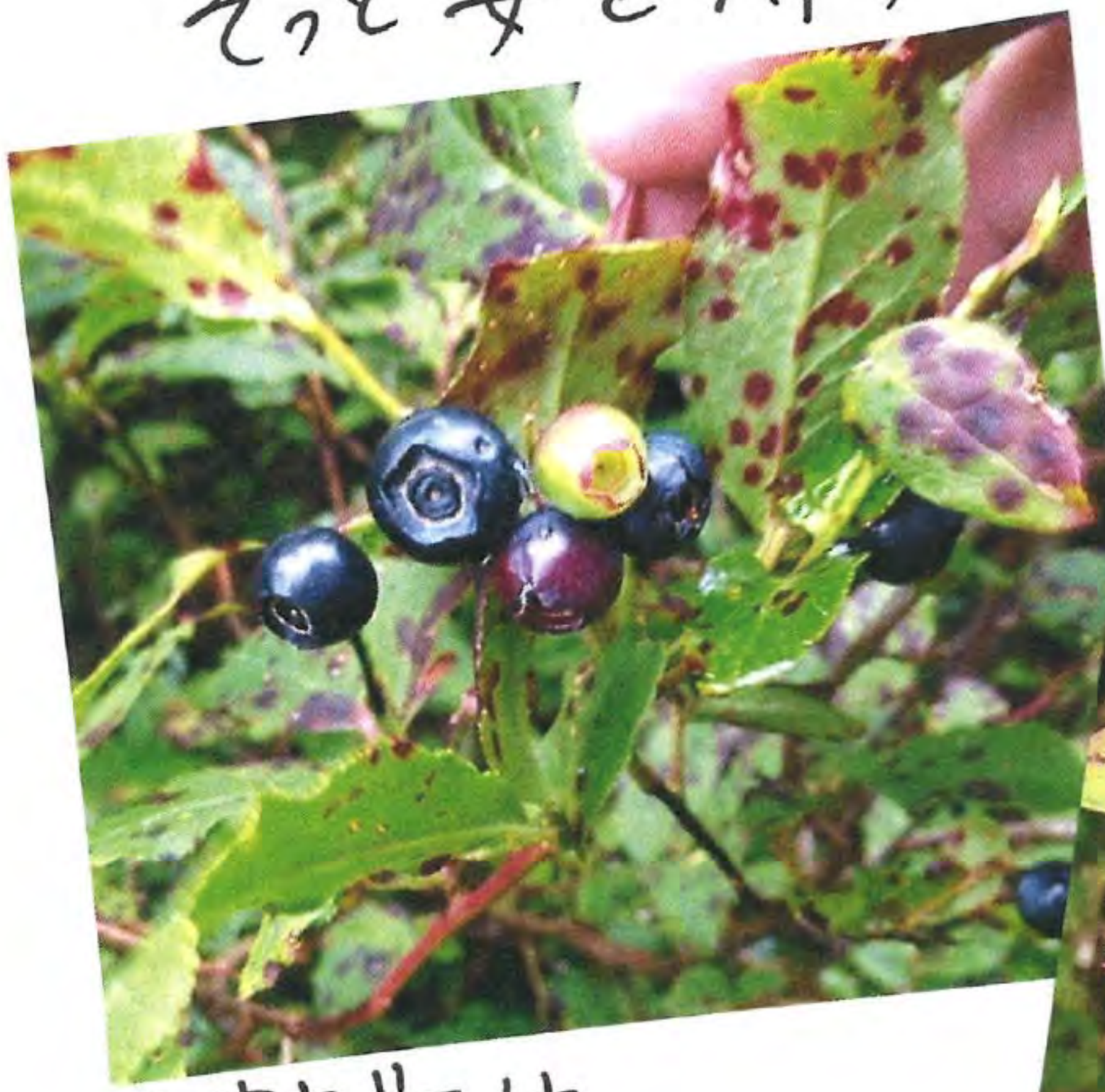


▲バニバナイチゴ

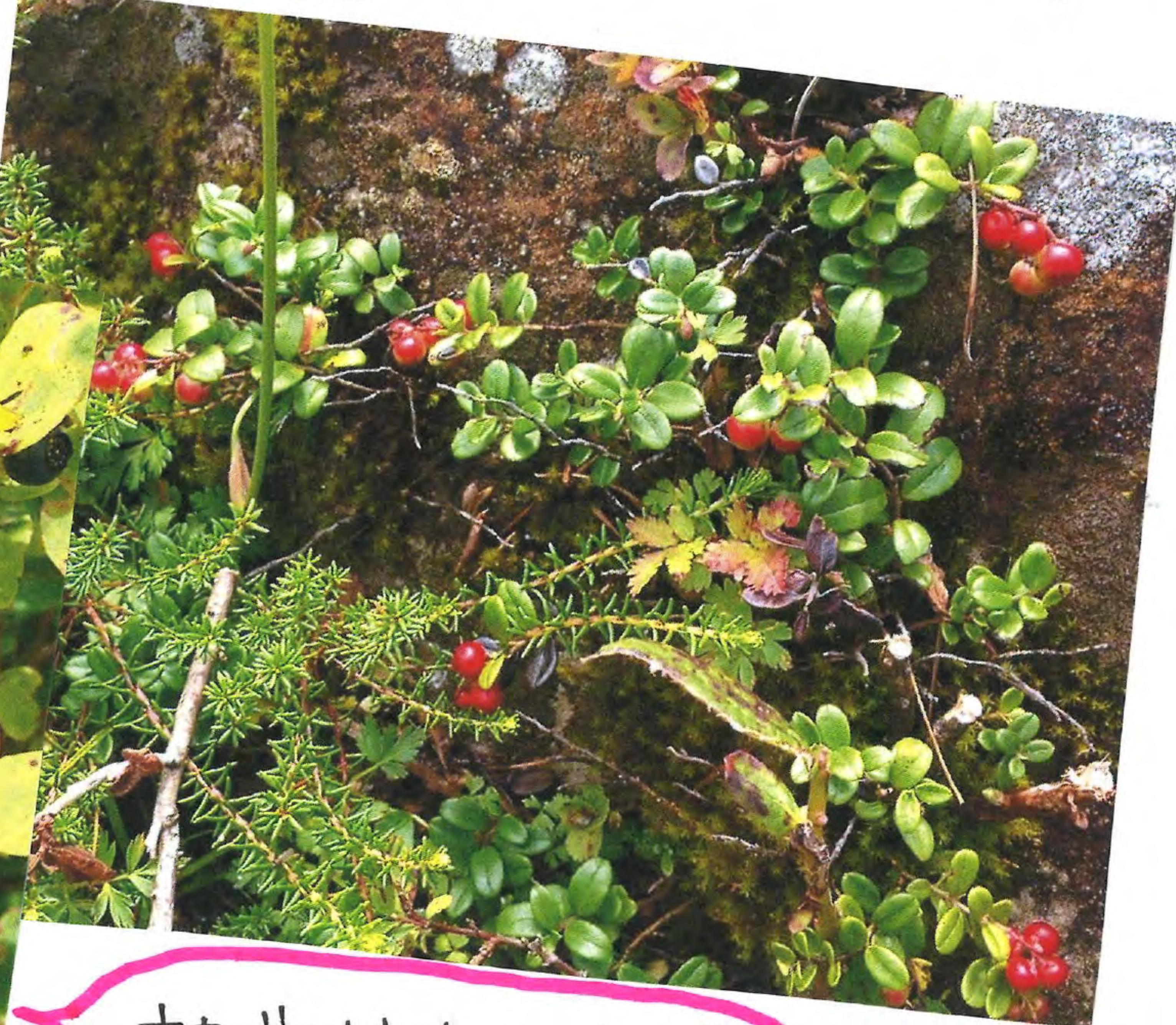
こんなかわいいお花が咲くよ



▼コケモモ



▲オオバスキ
クロウスゴ ▶



オオバスキもクロウスゴもブルーベリーの仲間だよ



くまさんはね...

日本には2種類のくまさんがいます。ヒグマさんとツキノワグマさんです。ヒグマさんは北海道にしかいない(野生では)と言われていて、2000~3,000頭といわれています。ツキノワグマさんは本州と四国に8,400~12,600頭暮らしています。岩手県にはそのうち約1,100頭が生活しているので、いかに岩手の山が豊かかということがわかります。ちなみにクマさんは冬眠するイメージがありますが、ごはんを食べずにじっと動かさないだけで寝ているわけではありません。メスのくまさんは冬の間に出産して雪解けまで何も食べずに子グマを育てます。

今日出会ったお花



▲ タチギボウシ エゾニユウ ▶



◀ シロバナトウチソウ
 ワレモコウやカライトソウの仲間です。
 「カライト(唐系)」も「トウチ(唐打)」も中国渡来の系種にお花の形が似ているので名前がつきました。
 (こんなの↓)



▲ イワオトギリ



▲ ナンブアザミ

お花の形が「大」の形をしているよ。



▲ ダイモンジソウ



▲ ハクサンシャジン



▲ ミヤマアケボノソウ



▲ トウゲツキ



スズラン
みたいな
お花が
味くよ



▲ アオノツガザクラの実



▲ タカネアオヤギソウ



▲ オオヤマサギソウ



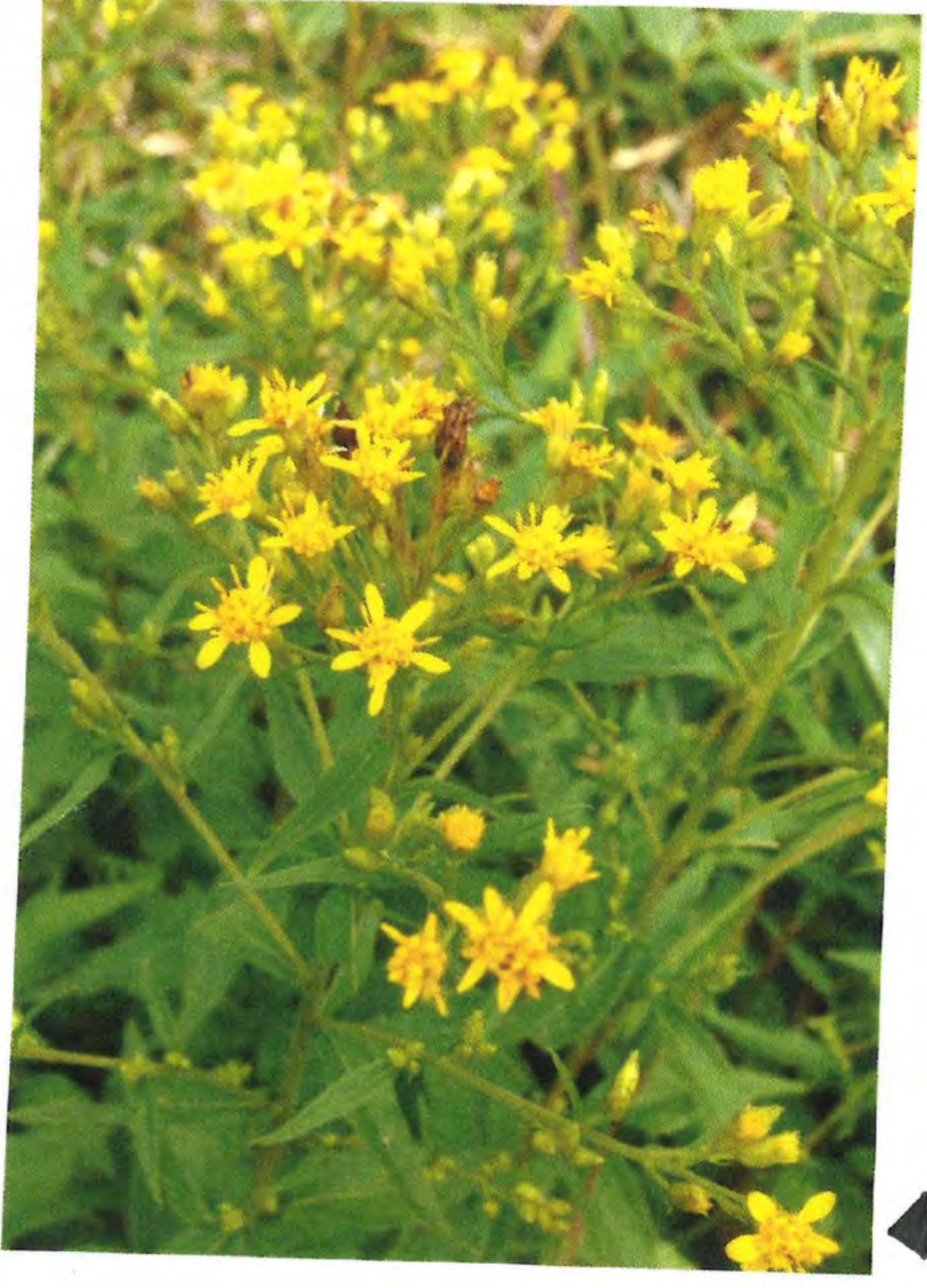
▲ エゾオヤマリンドウ



▲ モウセンゴケ



▲ ノリウツキ



▲ ヨツバヒヨドリ

▲ ミヤマアキノキリンソウ